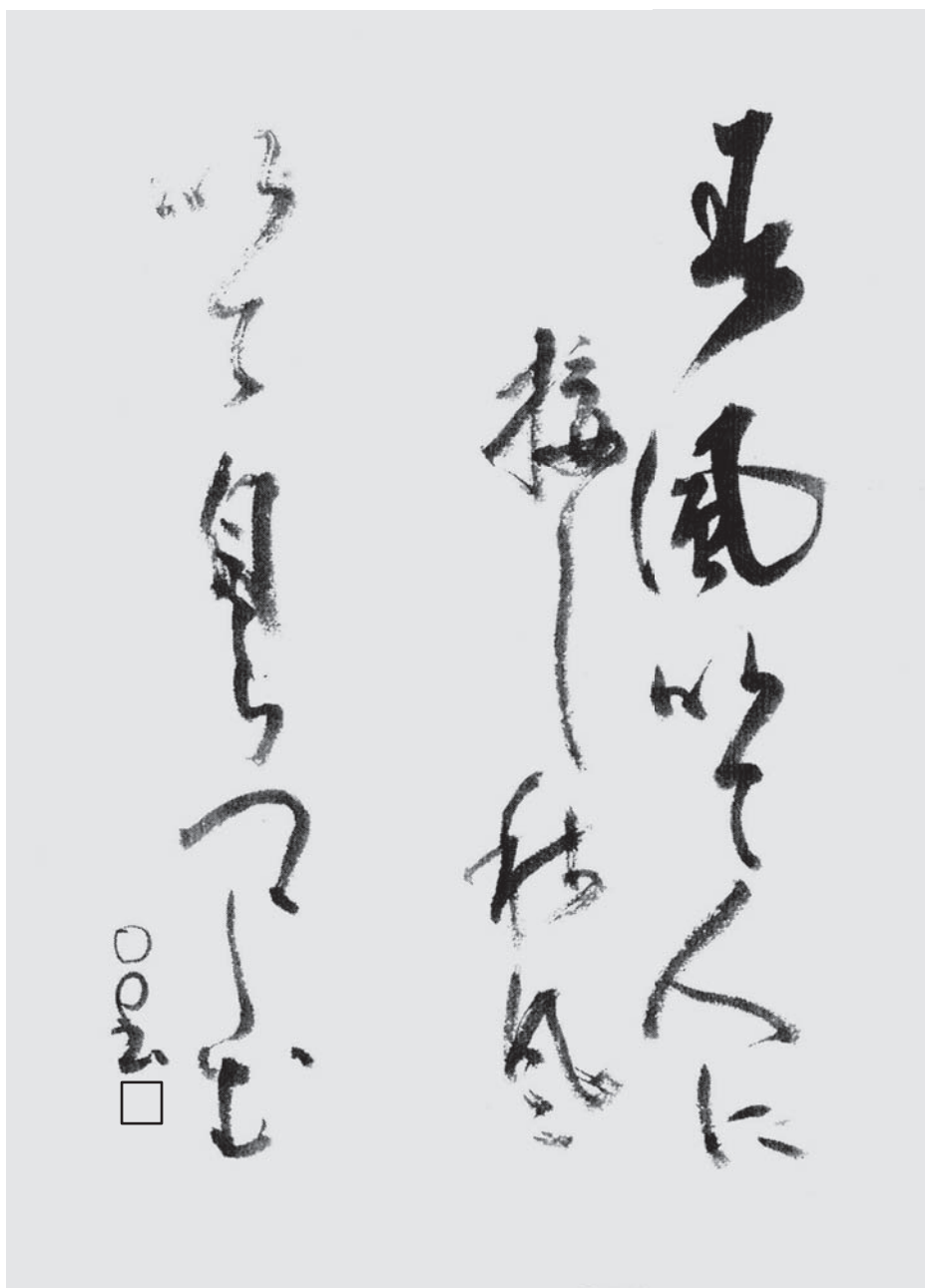


調和体を書く(3)

締切り 三月二十五日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書道展の一部門を占めています。

◆読める書として近年人気を高めていますが、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に関係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいりましょう。

〔読み〕

春風以て人に接し

秋風以て自らつつしむ

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※「〇〇書」はご自分の名をお書き下さい。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

善 生 涯 追 憶 再

同字変化

◎今月は行書で比較的書きやすい書体です。ペン圧もペンの運びも軽くなめらかにして、常に連意を
考え、かなとの調和もしくりとなるよう心がけ練習しよう。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

善く生きられた生涯は
人々の追憶の中に
再びその生涯を生きる

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

私 達 自 然 流 儀 知

知	自	私
る	然	達
必	の	は
要	流	
が	儀	
あ	を	
る		

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆4月課題予告（楷書）
人間は意欲する事
創造する事によって
幸福を感じる

▼教範・書範Ⅱ行草または草書
▼師範Ⅱ行書

★善く…（書体Ⅱ行書）
福永武彦（一九二〇～一九七五）
小説家「別れの歌」より
たとえ短い人生でも、自分の人生が
本当によく生きた人生であったかは、
自分自身ではよく分からないもので
す。死後、人々が評価するものでし
う。「あのような人生を自分も送りた
い」と思ってもらえる様であれば、最
高の人生であると言えるでしょう。

◆4月課題予告（行書）
運命が
カードを混ぜ
我々が勝負する

★私達は…（書体Ⅱ楷書）
レイチエル・カーソン（一九〇七～一九六四）
アメリカの海洋生物学者・評論家
一九六二年に発表した「沈黙の春」
は、環境汚染の進んだ極限状況の町を
描写しています。合成殺虫剤や除草剤
などの化学薬品による環境汚染に警鐘
を鳴らしたのです。人間は数種の虫を
退治する為に、自分自身の体を危機に
陥れている事を認識すべきでしょう。

締切り 3月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

白魚佐奈可羅うこ九やさながら動く水の乃意ろ色

白魚うをやさな可がら有こ動く水み川(州)の色いろ

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

しらうを
白魚やさながら動く水の色 みつ

（小西来山）

〔句解〕水量の増した早春の川に白魚が泳ぎまわっている。その透き通った体の色は、まるで水そのものが動いているかのごとく見える。

【鑑賞】白魚の美の本質をずばりと言
い当てた句である。白魚そのものにレ
ンズを絞り、その繊細な美を真正面か
ら写しとった点に特徴がある。

〔古筆参考〕

意い 以い 有う 羅ら 佐さ

意 以 有 羅 佐

〔解説〕「白」は、右側の縦線の最後を少し左方向に書くと最後の点が引っ掛け易い。

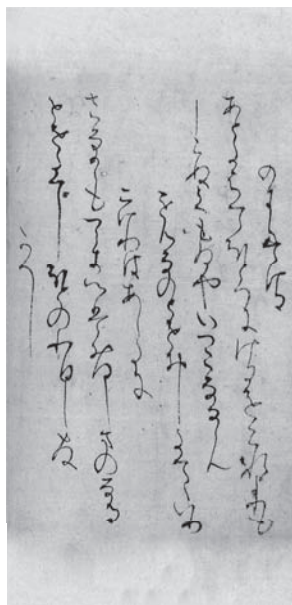
◆4月課題予告

菜の花よどや淀かつらも桂みづも忘れ水

（池西言水）

〔古筆参考〕

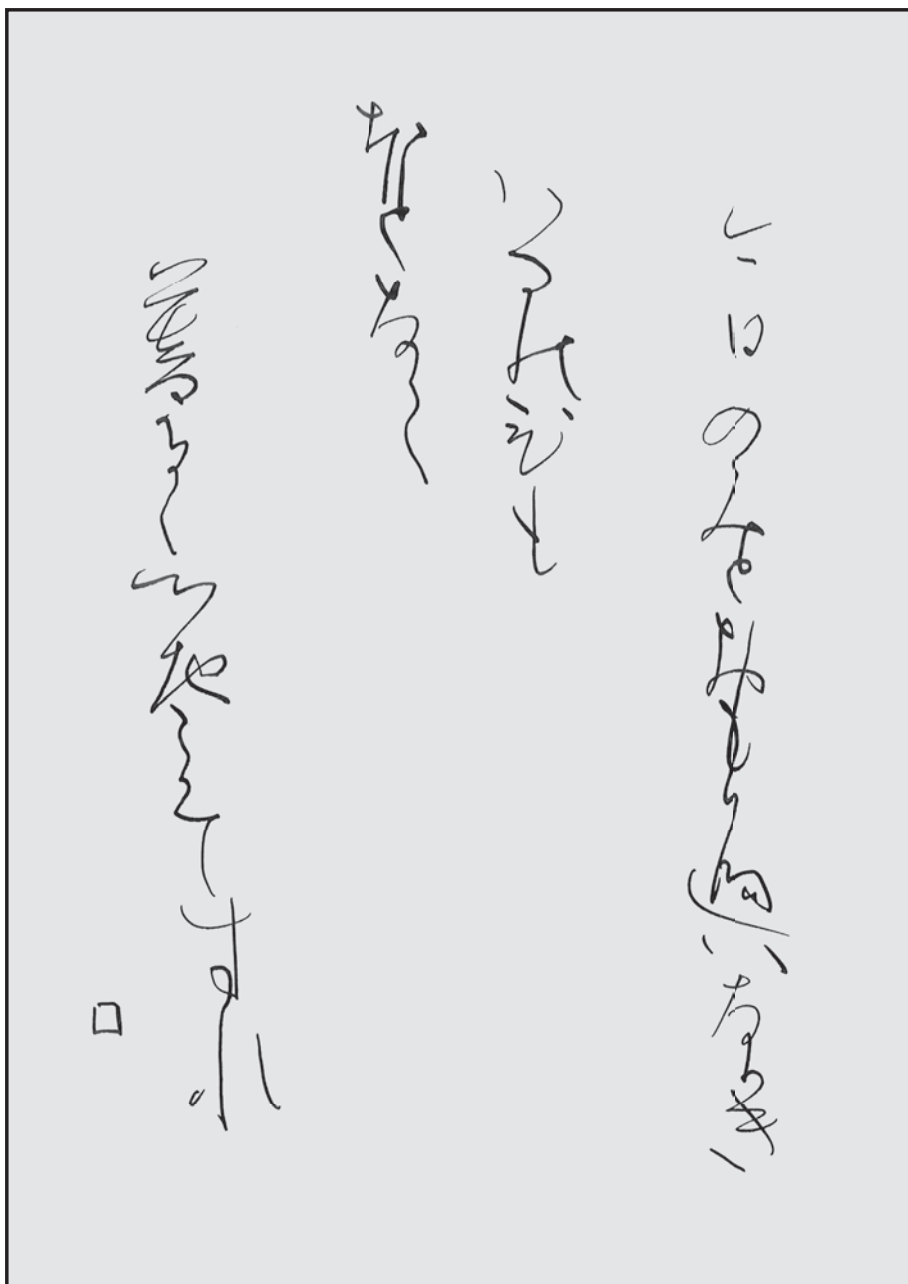
いち じょう せつ しょうしゅう
一条 摂政 集



のきこえける
あとたえてほどへにけるをこれよりも
しらぬくもゐやいづこなるらむ
をむなの、とをおしたてゝいり
にければ、あしたに
さなからもつらき心はおほしまのなる
とをたてしほどのわびしさ
かへし

締切り 三月二十五日（必着）

築瀬舟香書



今日けふのみと思へばながき春の日も
ほとんど暮るゝ心地こそすれ

〔歌意〕今日がいよいよ春の最後の日
であると思うと、永いはずの春の日
も、ほとんど暮れてしまう心地がし
て、惜別の念に堪えないことである。

〔出典〕山家集
〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④呼応
- ⑤と⑥、⑤と⑦、②と⑧、③と⑨そ
れぞれ呼応。

・中央の余白大切。

・行の密と密の動き大切。

・指向性、⑤点の位置重要。

◆4月課題予告

露おもみ園のなでしこいかならん
あらく見えつる夕立の空

締切り 3月25日(必着)

本日は同窓会のご案内をいただき
有難うございました。青春時代を
過ごした日本で久しぶりに皆様に
お目にかかれると思うと、感慨も
ひとしお
一入です。是非出席いたします。
今から心待ちにしています。

本日は同窓会のご案内をいただき
有難うございました。青春時代を
過ごした日本で久しぶりに皆様に
お目にかかれると思うと、感慨も
ひとしお。是非出席いたします。
今から心待ちにしています。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

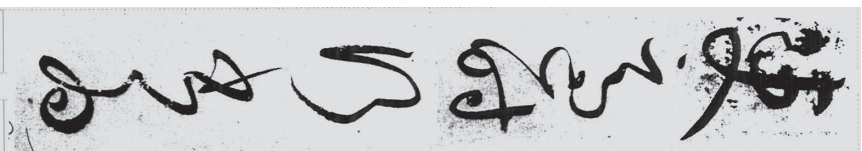
日本の消防は、昭和23年に警察
行政から独立し新組織となった。

愛知県豊田市 氏 名

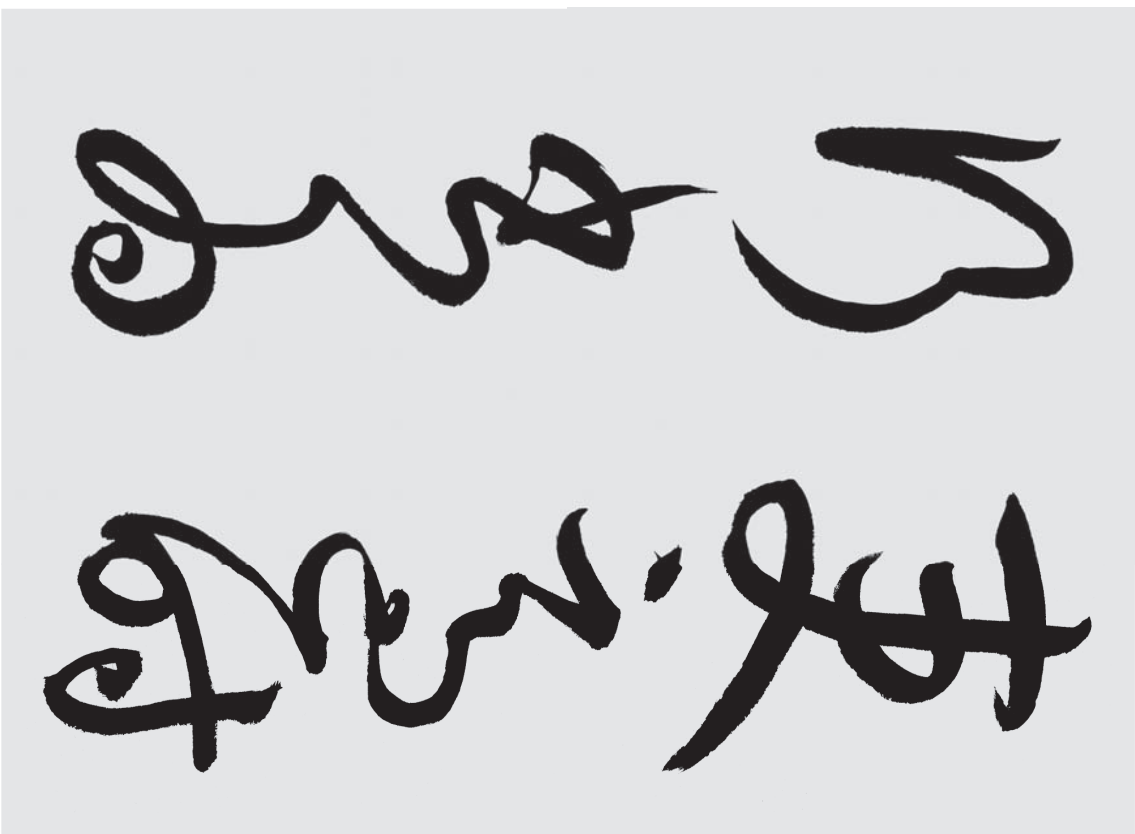
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 3月25日(必着)



更 適 時 行 書 爲



〔出典〕書譜（687）〔筆者〕孫過庭（648?～703?）
〔読み〕更に（趨き）時に適うは、行書を（妥と）為す。

準初段から師範まで

奥村暢之 臨
おくむらわたしのゆき



新入から1級まで（楷書）

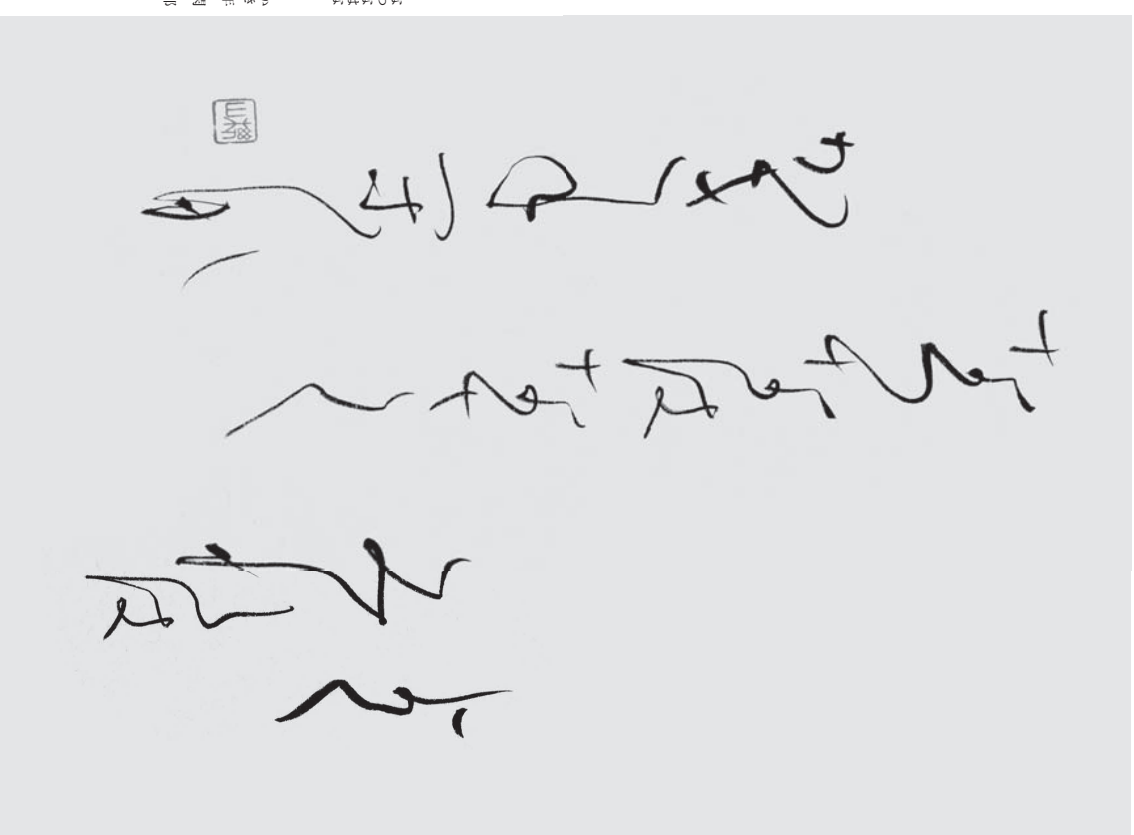
須田一葉 書
すだいちのえ

〔読み〕春水四澤に満つ
〔大意〕春になり雪解け水が沢を満たしていく。

一般部毛筆かな課題

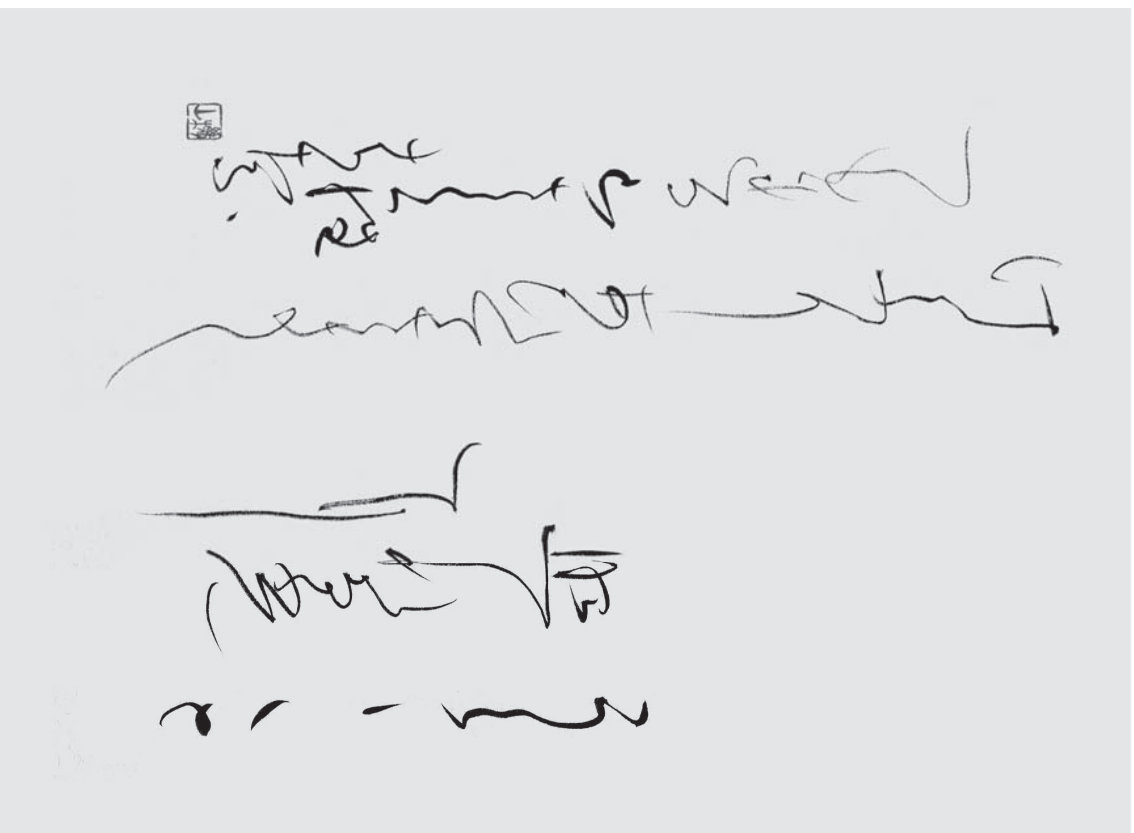
締切り 3月25日(必着)

新入から1級まで



浅井 機山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

よくみれば 薺花さく垣ねかな
なつばは かしき 年 間 那

【出典】 松尾芭蕉

【句意】 ふだんは気にも止めない垣根の根元に、よく見ると薺の花が目
立たずひっそりと咲いている。

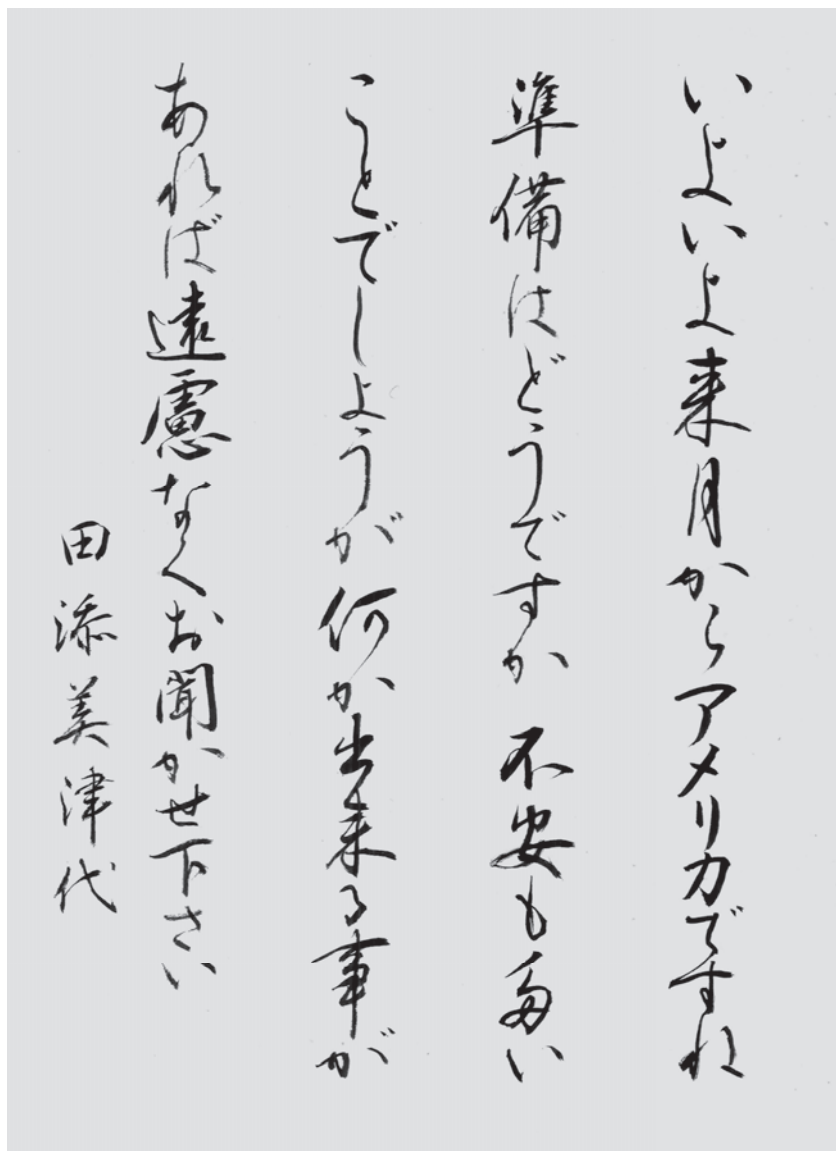
【出典】 若山牧水

【歌意】 うらうらと照りかがよう光の中に、ほのかにけふりあって咲き
しづもっている、山桜の花は。

うらうらと照れる光にけふりあひて
咲きしづもれる山桜花
さくら

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

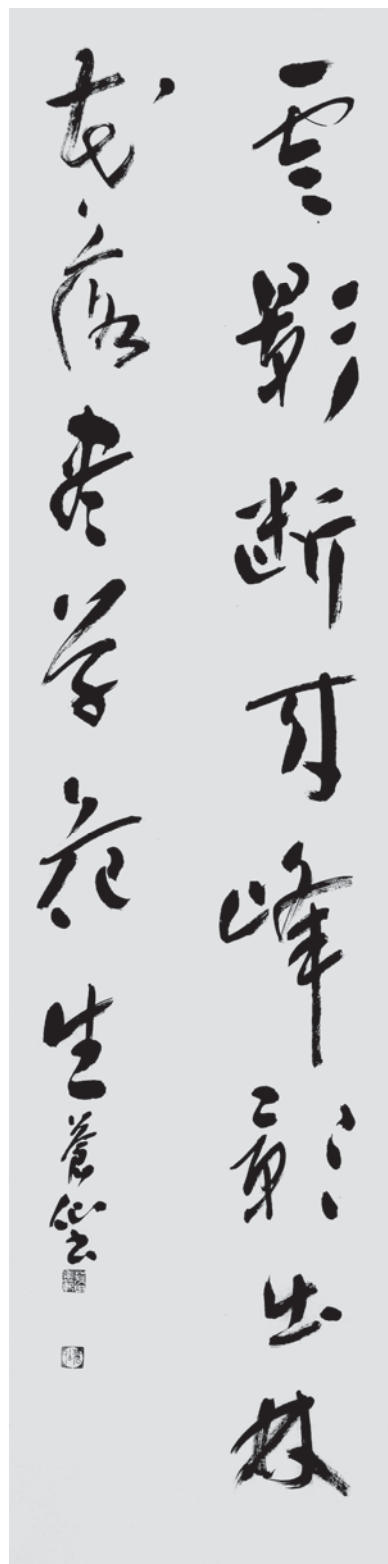
いよいよ来月からアメリカです
準備はどうですか 不安も多い
ことでしょうが何か出来る事が
あれば遠慮なくお聞かせ下さい
田添美津代

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。



締切り 三月二十五日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

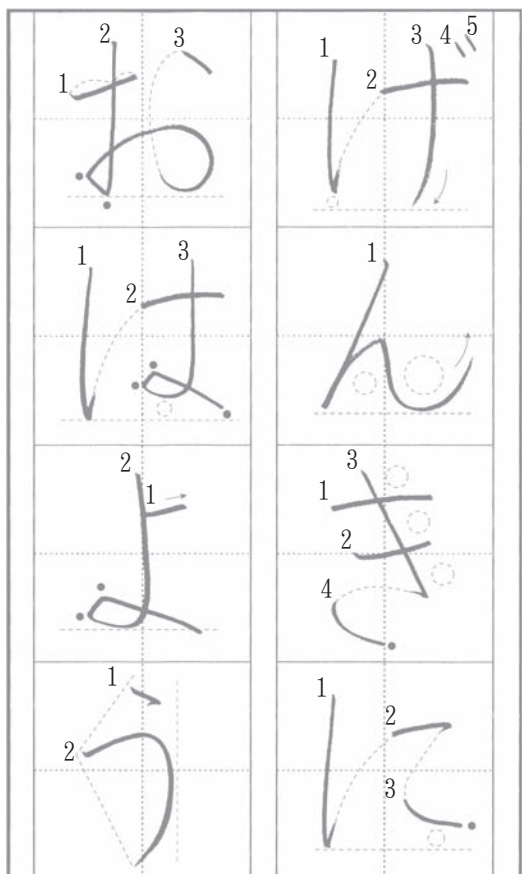
雲影断来峰影出
林花落盡草花生
〔大意〕雲が崩れて峰があらわれ、林花が枯れおちて肥料となり、ために草花が生じる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕単体であっても孤立する事なく、氣脈を通すことが重要です。温雅な作をイメージし、余白と穏やかな運筆を心がけました。

いよいよ来月からアメリカです

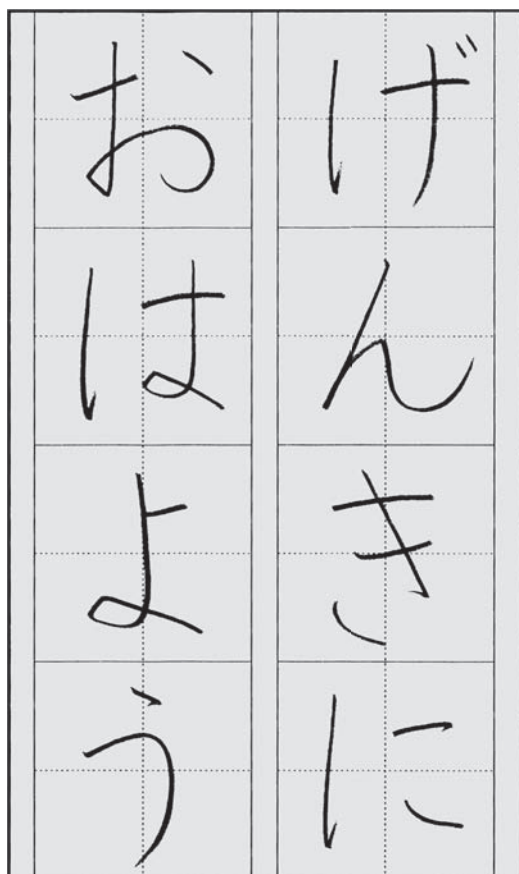
準備はどうですか 不安も多い
ことでしょうが何か出来る事が
あれば遠慮なくお聞かせ下さい

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



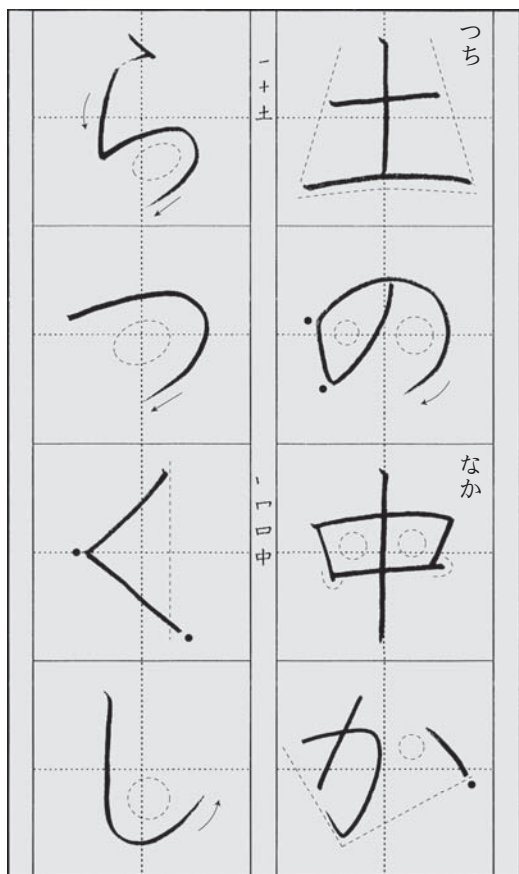
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



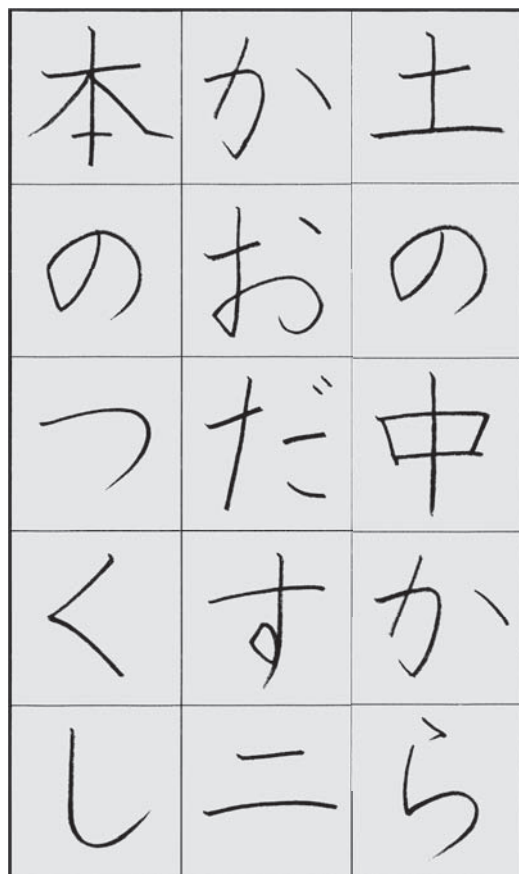
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

前 まへ	左 ひだり
か	下 した
い	に
た	名 な

新入1級

名	下	紙
前	に	の
か	自	う
い	分	ら
た	の	左

準初段以上

小二年

い	金 かな
魚 さかな	あ
や	み
く	使 つか

新入1級

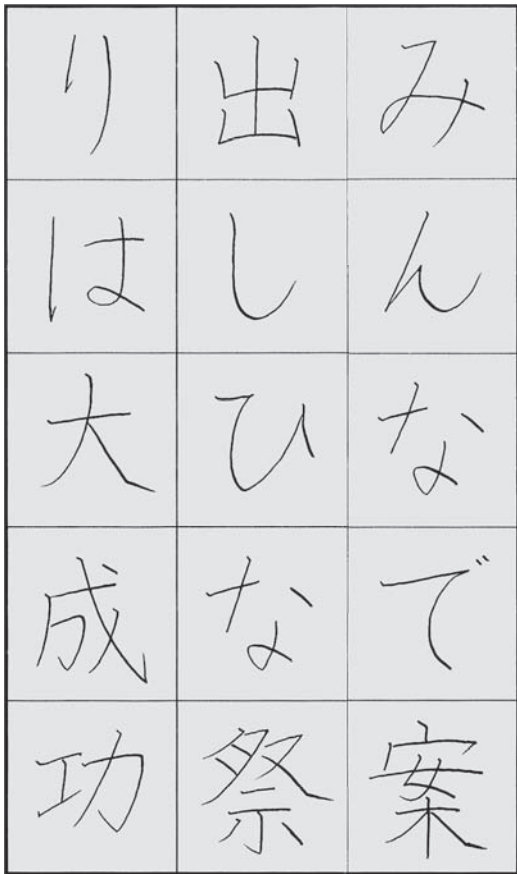
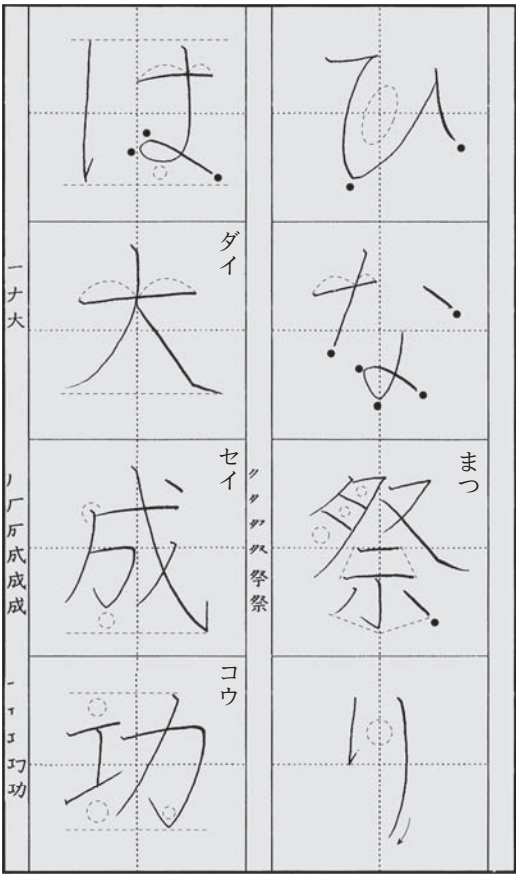
魚	を	炭
を	使	と
や	い	金
く	外	あ
よ	で	み

準初段以上

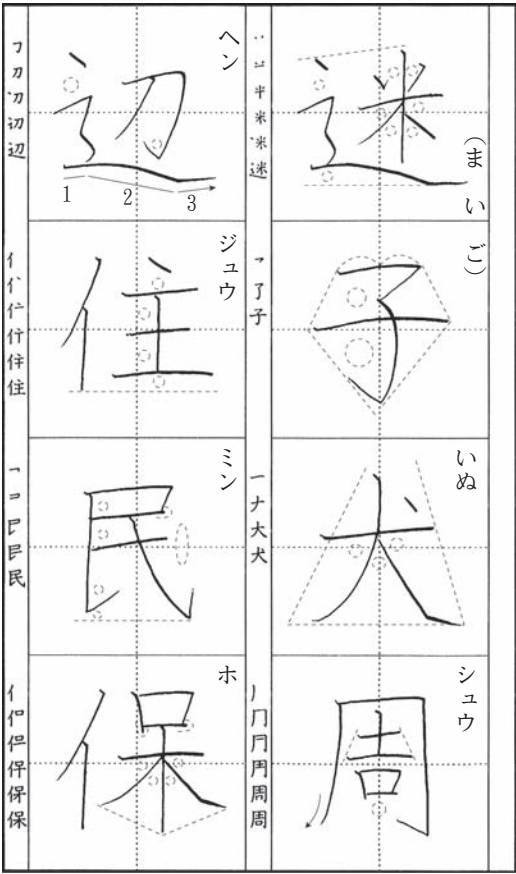
小三年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)



小四年以上
岡嶋桂川書



※迷子(まいご)単語としてこのように読みます。
解説(よく見て習いましょう)

小六年

延	し	接
長	た	戦
に	試	で
入	合	白
る	は	熱

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

試	接
合	戦
延	白
長	熱

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

掃	分	換
除	の	気
し	部	し
ま	屋	て
す	を	自

(行書)

※部屋^{へや}＝単語としてこのように読みます。

中二・三年

(行書)

野	込	苗
菜	め	か
を	育	ら
収	て	丹
獲	た	精

▼小三年以下の課題

すぎ 杉 うら 浦 けい 恵 すい 翠 書

シ	間 ^ま	ぎ	ピ	公 ^{こう}
ー	も	っ	ン	園 ^{えん}
ズ	なく	し	ク	の
ン	花 ^{はな}	り	の	木 ^き
で	見 ^み		つ	に
す	の		ぼ	
			み	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 3月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

おお 大 さき 崎 すい 水 しゅう 愁 書

挑 ^{ちよう}	パ	チ	小 ^こ	我 ^わ
戦 ^{せん}	ン	ヨ	麦 ^{むぎ}	が
し	作 ^{つく}	コ	粉 ^{こな}	家 ^や
ま	り	入 ^い	を	で
す	に	り	練 ^ね	は
		の	り	



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

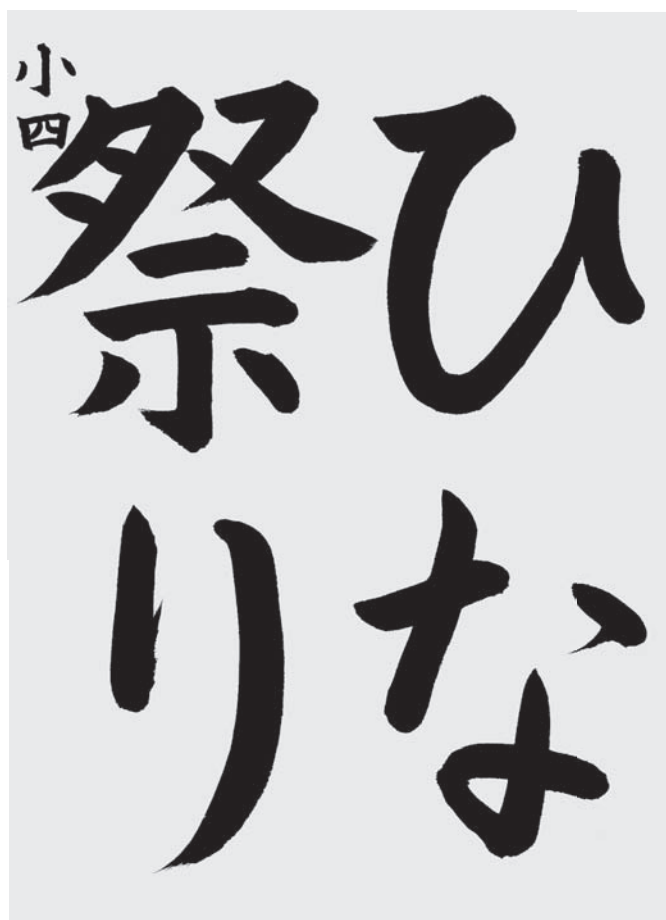
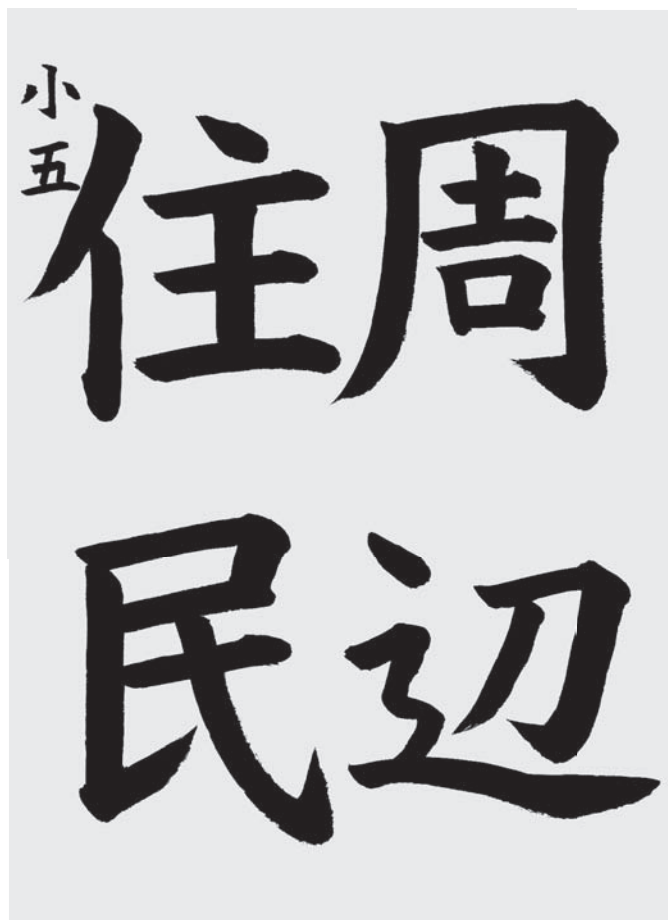


幼年／小二年
玉樹小
華書



※そり方注意





小三・小五年
水野香竹書

中三 野菜を
収穫

小六 試験
延長

小六・中三・三年
奥村暢之書

屋 野菜
試験 延長 部

中一 掃除 部 屋の